



1年学年だより

発行日：平成 31 年 2 月 6 日（水）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：磯部 修一 NO. 9

新しい年を迎えて

校長 磯部 修一

2019 年 10 月に港南区は区制 50 周年を迎えます。この 50 周年のテーマは「愛あふれる[♥]ふるさと港南に」です。あいさつのあい、知りあいのあい、助けあいのあい、見守りあいのあい、愛（あい）がたくさんある港南区にしていきたいという願いを込めて様々なイベントが計画されています。本校は 11 月 2 日（土）港南中学校で開催される区内中学生による文化祭に演劇部が参加する予定です。港南区内の市立学校の一つである本校も地域の学校としてこの節目の年を祝い、まちとの「つながり」を深めていきます。毎日通っている学校がある地域に私たちはいろいろな場面でお世話になっています。



愛あふれる[♥]
ふるさと港南に

学校が過ごしやすい、楽しいということの土台には地域の環境が大きく影響しています。本校の特色の一つである総合的な学習の時間、EGG のテーマ「世界を幸せにする第一歩」を身近な地域から踏み出したいものです。

区から市に目を向けると、今年は横浜開港 160 周年を迎えます。9 月にはラグビーワールドカップ 2019TMが開幕し、決勝戦など 7 試合が横浜で行われる予定です。また、今年は戦後初めて市の人口が減少に転じることも見込まれています。学校教育に関わる動きとしては、昨年 12 月に「第 3 期横浜市教育振興基本計画」が策定されました。これから 2022 年までの学校教育をすすめる一つの拠り所となるものです。この計画の策定・推進には二つの基本姿勢があり、その一つは「持続可能な学校への変革」です。その具体の一番に挙げられているものは、「SDGs との関係性を意識した教育活動の展開」です。

2021 年が中学校の新学習指導要領全面実施の年です。本校では、持続可能な社会の実現に向けて行動する力を育成するために、SDGs と関連付けながら ESD を推進していくことができるよう今年から準備を進めます。本年もよろしくお願いいたします。

【ESD について】

ESD は Education for Sustainable Development の略で「持続可能な開発のための教育」と訳されています。今、世界には環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な問題があります。ESD とは、これらの現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む (think globally, act locally) ことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。 文部科学省 HP より

【SDGs について】

持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) には、2016 年から 2030 年の 15 年間に、国際社会が取り組むべき 17 の目標が掲げられています。「先進国も達成に努めるべき世界共通の目標」、「私たちの世界をよりよくするためのみんなの目標」です。 「Sustainable Development Goals (SDGs) 「持続可能な開発目標」を伝える先生のためのガイド」 unicef より

インフルに負けるな！7期生

1年で最も寒い時期を迎えました。今年度も残り2ヶ月です。昨年に引き続き、職員一同、子どもたちの健やかな成長を見守っていきます。この頃は、朝晩の冷え込み厳しく、空気も乾燥してきました。急な発熱や咳、鼻水など、気候の変化で身体への負担が大きくなる季節です。今月は全国的にインフルエンザウイルスが猛威を振るいました。手洗い・うがい、適度な湿度の保持、十分な休養と、バランスの良い食生活を心掛け、インフルエンザウイルスに負けない心身を作ることが大切です。生活リズムを整えると、健康にもよく、頭もすっきりして気持ちよく1日を過ごすことができます。7期生みんなで元気に、楽しく、寒い季節を乗り越えましょう！

校内書初め大会

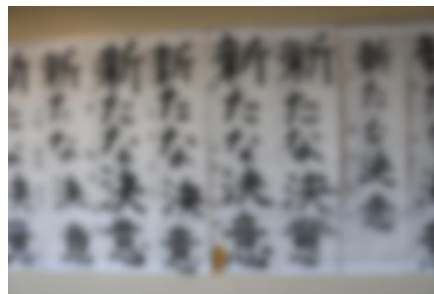
冬休みの課題のひとつに、国語科の書初めがありました。この課題は附属中学校3学年全員が取り組み、校内書初め展として、一斉に作品を掲示しました。年内の書写の時間では、基本的な筆使い（トン・スー・トン）の確認や、字の形をじっくりよむこと、中心線を理解して書くことなどを学習目標に、黙々と練習しました。課題の書初めには、その学習の成果がよく出ていたように思います。

各教室では、国語の時間に、全員で協力し合って、全員の作品を廊下や教室壁の高い位置にずらりと掲示する作業を行いました。適材適所、協力し合って掲示していく様子はほほえましいものでした。協力の末に掲示された作品を互いに鑑賞しあい、「太くて堂々としていること」「中心線がすっと通っていること」「漢字とかな文字の大きさのバランスが良いこと」「筆の入りが美しいこと」「字の形が端正であること」など鑑賞ポイントを学びました。これからも美しいものを美しいと見る目、美しいものを生み出す姿勢を育てていってほしいと思います。中学国語科四人の先生方から優秀賞に選ばれたのは、次の皆さんです。



優 秀 賞

- 1組 ■■■さん、■■■さん、■■■さん、■■■さん、■■■さん、■■■さん
2組 ■■■さん、■■■さん、■■■さん、■■■さん
3組 ■■■さん、■■■さん、■■■さん、■■■さん、■■■さん
4組 ■■■さん、■■■さん、■■■さん、■■■さん、■■■さん、■■■さん



百人一首大会開催

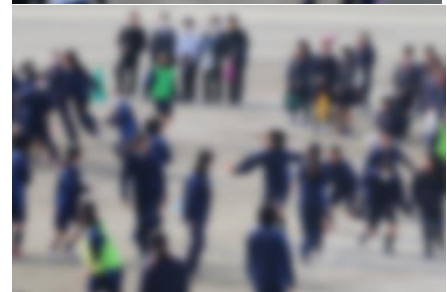
1月29日、毎年恒例の百人一首大会が開催され、柔道場に集結した7期生が真剣勝負を繰り広げました。クラス対抗でそれぞれ3~4人の40グループ、対戦相手を入れ替えての計2試合・全80戦をおこないました。ひとりが70枚以上を独占するグループもあれば、“つわもの”が同グループでぶつかる大熱戦もあり、大会は大いに盛り上がりました。





白熱のドッチビー交流会

今年度の生徒会目標は『3 学年の壁をなくす』です。生徒会役員や学級委員が中心となって、学年間の交流を深めてきました。その一環として、この1月に開催されたのがドッチビー交流会です。3 学年を縦割り でチーム分けし、4 色チームで優勝を争いました。昨年度までの「ドッチボール」から切り替えられてはじめての交流会。生徒自身が主体となって、応援や運営にも責任感を持って携わっていく姿が印象的でした。



EGG ゼミポスター制作も佳境に入りました！

EGG ゼミも発表へ向けて、ポスター制作が始まっています。これまで、様々な分野の先達からお話をいただいたり、個々で調べたり、グループで議論したりと、学びを深めてきました。思い返せば、みんなで大笑いしたことや、はじめて経験することで戸惑ったり悩んだりしたこと、仲間とぶつかってしまったこともありました。最後は、グループが一丸となって、一生懸命まとめ作業に取り掛かっています。



姫のひとりごと

今年もこの日が来ました。緊張しながら、校門をくぐり、今までの努力の成果を出すべく全力を尽くした2月3日、適性検査の日です。保護者の方をはじめ、多くの方々の応援を力に変えて、この日を迎えたことでしょう。

「初心忘るべからず」あの時の気持ちを忘れずに、日々を送ってほしいと思います。